

風のように

甘木教会



主任牧師：白川道生 牧会委嘱牧師：竹田孝一

わたしはまた、新しい天と新しい地を見た。最初の天と最初の地は去って行き、もはや海もなくなった。更にわたしは、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように用意を整えて、神のもとを離れ、天から下って来るのを見た。そのとき、わたしは玉座から語りかける大きな声を聞いた。「見よ、神の幕屋が人の間にあって、神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない。最初のものは過ぎ去ったからである。」

ヨハネ黙示録21:1～4

あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。

ヨハネによる福音書13:34～35

【説教要旨】

今、「日本キリスト教神学小史」という本とルーテル神学校が出した「ルター研究」を読んでいる。ルーテル教会の生んだ神学者、北森嘉蔵牧師の神の観方について記されていました。そして、当然ですがルーテル教会でない人が書いた「日本キリスト教神学小史」は、北森先生の神の観方は「一点集中、ないしは一面的な偏りがある」と批判しています。しかし、批判の言葉「一点集中」、「一点突破」という言葉は、ルーテル教会の特徴です。久留米教会の牧師だった宣教学の石田順朗牧師が、『ルー

テル教会のDNA』という文章の中で、「聖書、恩恵、信仰のみ」の「のみ」は『神の恩恵はあなたに十分である』の充溢した現実を脈略にすることが基本要件となろう。」と言われます。それは、今日のみ言葉でいうなら、「**わたしがあなたがたを愛した**」ということです。私たちは愛された存在であるということです。次に「加えて、この『のみ』は、漠然とした他人ごとでなく、神の恵みが充溢する『わが身のこと』、つまり私自身の『生活の座』を真剣に見つめ、召された自分自身の存在を前向きに捉えて、積極意欲的に発揮することなのです」と言われています。「生活の座」とは、私たちが生きているところ、とき、ここで持つ課題を見つめ、ここで私がどうあるべきかを前向きに積極的に関わっていくこと一点集中、一点突破は、私たちが愛された存在というこの一点で、「**あなたがたも互いに愛し合いなさい。**」という世界が生まれるということです。

ここで注目することは、「**互いに**」という言葉です。私一人が愛するのでなくなく、私も同じ場所、時の生活を共有している隣人からも愛されているということです。

「あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」という新しい掟は、私たちに波風を起こします。「彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない」という言葉は、愛し、愛するということは、涙することが多く、時には死さえ覚悟しなければいけないというがあり、悲しみが、嘆きが、労苦があったということです。しかし、ここを通ることこそ新しい天と新しい地を見ることができるようです。私たちが見ている今という天と地を私たちは生きるのではなく、イエス・キリストが約束した新しい天と新しい地を生きるのです。それは、今の世は、自分の能力、財力、権力で作っていくものですが、新しい天と新しい地は、聖霊に満たされて作られていくのです。それは、私たちが求めているような平穏な日々ではなく、イエス・キリストを信じたゆえに、弟子とされたように平穏は崩され、呻きに

満ちているかもしれません。

世界一番貧しい大統領と呼ばれたウルグアイの元大統領ムヒカ氏が亡くなりました。彼は、任期中、ウルグアイの経済成長を拡大させ、貧困率の低下を実現したといひます。一方、幼くして父親を亡くし、花売りの母親に育てられ、ウルグアイ国内の貧富の格差に憤りを感じ、ゲリラ闘争で政治変革を目指し、13年間も投獄されたという過去もありました。それは、「互いに愛する」ということを真剣に問い、活動した結果でした。平穩は崩され、呻きに満ちているものでした。ホセ・ムヒカ元大統領は「私たちは発展するために生まれてきたのではありません。幸せになるために生まれてきたのです」と言い、「『私たちは幸せか?』と問いかけねばなりません。貧乏になれとか、修道士のように厳格に生活しろと言っているのではありません。富に執着して生きないでほしいのです。愛情を育むこと、子どもたち、友人、人生にとってささいなことでも、そのためにこそ人生の時間を使ってほしいのです」。カトリック国で、貧しいながら母に大切にされて育ったこの愛という一点突破が、彼の行動を生み出したのではないのでしょうか。イエス・キリストを信じる者にとって、これが喜びと聖靈に満たされることであります。



「見よ、神の幕屋が人の間にあって、神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない。最初のものは過ぎ去ったからである。」という出来事を神は、ムヒカ氏に与えたでしょう。彼の目の涙をことごとくぬぐい取ってくださらなければならぬ世界に彼は生きました。彼は愛されていたのです。愛情を育むこと、子どもたち、友人、人生にとってささいなことでも、そのためにこそ人生の時間を使えたのです。イエスさまが、新しい掟を与えられた互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる新しい天と新しい地に彼を、私たちを生かしてくださいます。

牧師室の小窓からのぞいてみると



現代、技術は大躍進した。しかし、その使いようで世界はどうなるか分からず、人びとは不安の中にいる。終わりが現実になっている不安な日々です。だから、落ち着いて祈る時だと思います。

「祈ろうとする人は、信仰は楽なものではなく、何の手掛かりもなしに、ほぼ漆黒の闇の中を進むこともあるのだと、心にきざまなければなりません。信仰生活には、暗闇のようなときもあります。何も聞こえないので、そうしたときを『暗夜』と呼ぶ聖人もいます。それでも、わたしたちは祈りを続けます。」(「キリスト者の祈りー祈りという闘い」の項より)

教皇フランシスコの言葉。

※「キリスト者の祈りー教皇講話集」 ペテロ文庫

園長・瞑想？迷走記



幼稚園2園の責任、保育園のチャプレンの責任がある。

神学校から引退まで大きな病気をせずにここまで来たが、引退したと言っても、まだ責任がある時の病気で、迷惑をかけることになった。H園の理事長として、もしものときについて話していたし、進むべき運営方針を書いていたのでよかった。副理事がリードしてくれるので安心している。園長をしているN幼稚園は、設置者、事務関係がしっかりしているので大丈夫だろう。園長不在の時のマニュアルを書いておいた。

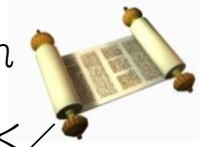
困るのはチャプレンである。おいそれと誰かが出来るものではない。幸い近くに引退牧師、しっかりした現役牧師がおられ、大丈夫だと思う。

こういう緊急のとき、やはり人である。人がすべてを解決していく。日頃から一緒に歩める人を集められるかどうか牧師、理事長、園長の仕事だと思う。このことを病気が快復したとき肝に銘じておきたいと思っている。いや完全引退か。

日毎の糧

しかし、神はわたしの祈る声に耳を傾け／聞き入れてくださいました。

神をたたえよ。神はわたしの祈りを退けることなく／慈しみを拒まれませんでした。



詩篇66：19－20



ルターの言葉から

パウロがコリント人の第二の手紙で、『キリストの力はわれわれの弱さの中で完成される』と言っていることなのである。われわれがいわば『**全弱**』であって、呻きもほとんど発せられないときこそ、キリストは真に『**全能**』であり、真に支配し、われわれのうちにおいて勝利なさる。だからパウロは、この呻きが神の耳には、全地を満たす非常に強力な叫びであると言うのである」。

聞いてくださるという確信

詩篇66篇は、歴史に働く神の御業を讃美しています。ユダヤ教を成立させた三つの歴史があります。天地創造、出エジプトとバビロニア捕囚です。苦難の歴史でもあります。しかし、苦難を通して神はその御業を示されたことを讃美するのです。

主も十字架におかかりになる前に、ゲッセマネで、十字架の苦しみを受けないで良いようにと祈りました。しかし、祈りはきかれませんでした。そして、十字架の苦しみを受けました。しかし、この苦しみの時間、歴史に新しいことが起きていました。神はわたしの祈りを退けることなく／慈しみを拒まれませんでした。

十字架におかかりになった3日目の夜明けの直前、闇がもっとも深い時、闇が勝利するのではなく、闇が明けた一瞬、神は働き、主をよみがえらせたのです。復活です。

「神こそが、最後の日の主人です。最後の日は神だけのものであり、救いを求めるすべての人の願いをかなえられる日だからです。……多くの場合、終わりから二番目の日はとてもつらいものです。人間の苦しみが強いです。しかし、主はそこにおられます。そして最後の日に、すべてを決着してくだします。」

(「キリスト者の祈り－教皇講話集」 ペテロ文庫)

祈り：闇深きとき主が働かれていることを信じられますように。

甘木通信



高校生時代以来、大きな病気をしなかったが、病気今は病気の検査を大学病院で続けている。先日は、再度、内視鏡検査をし、カメラを飲んだ。

老いたので、何が起きるか分からない。自分が死んだ後、牧師夫人として、よく主に、教会に仕えてくれた妻の今後の生活だけを考えて、急遽準備したつもりだ。

これから妻の生活は、お金は必要となるだろう。へそくりをみな妻に出してしまった。しかし、この人にどんなにこの世的に必要なことを揃えても喜びはしないだろうし自立しているということに気づいた。これを出したのは、迂闊だった。

久しぶりに婚約式を行った別府教会に行った。婚約の時、婚約指輪の代わりに聖書を交わした。妻は婚約指輪を求めなかった。そういえばあの婚約聖書はどうしただろうか。よくよく人生を振り返ってみると、まことに忠実にみ言葉に妻は、生きている。その傍に居れたので、私はイエスさまの衣のどこかを握って、ここまで信仰を歩めたと思う。

息子らを母としてよく育ててくれた。教会讃美歌、「主にある子どもは」を子守唄としていた。生まれてから小学校低学年まで確か子どもたちの服はお手製だった思う。一夜で仕上げていたことを思い出す。お揃いの怪獣模様のパジャマは可愛かった。息子、二人は毎週、教会へ行っている。感謝。

これからも人と神と一緒に妻は生きるだろうと思うと、今は妻のことよりも自分のこと考えて身の回りの整理をしなくてはいけない。簡単、「すべて捨ててください。」と伝えておけばよい。きっと妻なら捨ててくれるだろうが、どこかで「それはないよ」という自分がいるような気がする。

(甘木日記)土) 午後から甘木へ行く。甘木泊日) 雨で清掃された庭は美しい。手を入れなかった。その分、花壇の手入れが出来た。赤紫蘇の芽が育っている。今年は赤紫蘇を使って楽しんでみよう。月) キリスト教保育連盟九州部会園長研修に初任地・別府に行く。すばらしい講演会。養護施設、教会と一緒に歩んだ朋と会う。火) 病院での検査と、幼稚園を空けられなくなり急遽、久留米に。水) いつものように幼稚園に行き、いつものように仕事。木) 快調。午前中、松崎保育園で聖書の学び、こども礼拝。午後から甘木へ行く。金) 半日は日善幼稚園へ、夕刻、苦楽を共にした方を送りたいと思い葬儀のために東京に向かう。今週も感謝。

おまけ・牧師のぐち（続日記）牧師だって神さまの前でぐちります。ぐちらない聖人（牧師）もいます。

土）午後、西鉄甘木線で甘木に向かう車中、「ルター研究」の雑誌を読む。面白い論文にくぎ付けになるが、眠りの誘惑には負ける。共に東海教区で宣教し、阪神・淡路大震災と一緒に救援物資をトラックで一緒に届けにいったT牧師が77歳で召天したと聞き、人生が引き剥がされた思いになった。一緒に行ったN牧師に電話をする。日）雨で清められた庭は、掃き目を付けるより美しい。花壇、芝の草取りをして、礼拝を待つ。午後はゆっくりと信徒さんと話し、信徒さんの車で電気屋さんに行き、芋ほりはするが、芋はどのようになるかを体験して欲しかったのでN幼稚園のために芋の苗を購入にいく。家まで送っていただく帰り道に麦畑が収穫を待っている。実に美しく、慰められる。月）キリスト教保育連盟九州部会園長研修に行く。獣医師の方の講演であったが楽しく、考えさせられる話であった。「飼育」とあるが、



（別府・竹瓦温泉）

「飼う」だけでなく「育てる」という言葉がある。「育」とは「自分がして欲しいことを相手にする」ということで（別府・竹瓦温泉）ではないか。そこで「保育」とは、いうことを突き付けられたように思った。初任地・別府であったので信徒、養護施設で働いた朋と会う。火）幼稚園にどうしてもいなければいけないこと、病院から呼び出されて胆管の内視鏡検査で、早朝に別府を立ち、久留米に戻る。麻酔がかけられ、気づいていた時は終わり。そして映像がある。すごい、すごい技術の発達。終わって再び最後まで幼稚園に。帰宅。水）いつもと生活は変わらない。職員会議。幼稚園だけでなく、教会、それもグループを組んでいる他の教会のことも考慮しながら運営をしていかななくてはならない。胃が重く、食欲は落ちているが、夕刻より



た。体重の減少は気になるが。ことを教えてくれたウルグアイくなる。「人類はこの消費社会でいる。貧乏な人とは、少しし無限の欲がありいくらでも満足しない人のことだ」（2012年の国連会議でのスピーチ）今こそこの言葉は心を抉る。木）体調もよく、松崎保育園で聖書の学び、子供礼拝に行く。ここで、一日、お父さんの保育体験が行われていた。職場体験、保護者参観はあるが、おもしろい。花の名前など、すぐわかるスマホの使い方を学ぶ。午後から甘木教会に行き、草取り、赤紫蘇を植える。金）半日は日善幼稚園へ、夕刻、苦楽を共にした方を送りたいと思い葬儀のために東京に向かう。今週も感謝

取り戻せ、普通に食べられ
本当の幸せとは何かという
のホセ・ムヒカ元大統領が亡
にコントロールされてしまっ
か持っていない人ではなく、